

狭いところでも効率的に作業できる重機

- 橋脚基礎や都心部の狭隘な箇所での掘削作業はバックホウの掘削範囲が限られるため、障害物を避けながら作業効率の悪い施工を強いられている。
- 本工事では、16本の場所打杭を避けながらの床掘作業にあたり、チルトローテータを活用。



-機能情報-

バケットのチルトと回転により、3次元的な動きを実現

【回転】

360°

バケットを360度
回転させることができます。

【チルト】

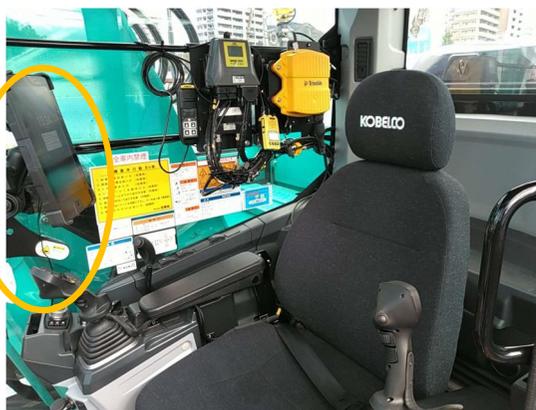
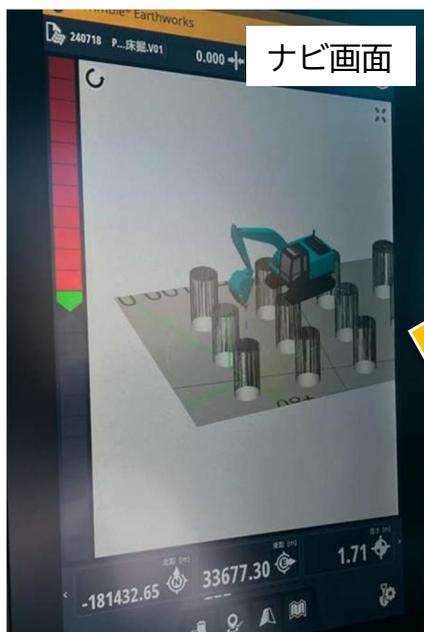
45°

バケットを±45度
傾けることができます。

-効果-

オペレーターは3次元データを
確認しながら安全に作業を行い
工程を **15日⇒7日間に短縮**

工事名：令和5年度広島南道路明神高架橋第14下部工事
受注者：株式会社加藤組 工期：R5.8～R6.3



運転席内

これまでバックホウで掘削できなかった箇所(人力)でも
バケット向きを変えられるため、掘削が可能となった。



施工状況



施工完了